

JOYO BANK NEWS LETTER

2026年5月18日

株式会社 Green AI とのソリューション利用パートナー契約締結について ～取引先企業の脱炭素施策の立案から実行まで一貫支援を強化～

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、脱炭素計画策定システム「Green AI」を提供する株式会社 Green AI（代表取締役 鈴木 慎太郎、以下「Green AI 社」）とソリューション利用パートナー契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

両社は、脱炭素計画策定システム「Green AI」を活用し、地域企業およびサプライチェーン全体における脱炭素化の実現に向けた取り組みを推進します。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンの目指す姿として掲げ、今後とも、ステークホルダーの皆さまの課題に寄り添い、ともに歩み、解決することで、新たな価値を創造し、地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

記

1. 背景

当行は、第4次グループ中期経営計画（2025年度～2027年度）を、「持続的成長に向け、進化を加速する期間」と位置づけています。優先して取り組む重要課題（マテリアリティ）の一つに「脱炭素社会・環境保全への貢献」を掲げ、「社会課題解決戦略」を通じて地域の脱炭素化やエネルギー問題の解消を目指しております。本件は、事業者のCO2算定・削減を支援するための連携であり、脱炭素社会への移行を支援する取り組みの一環です。

2. 株式会社 Green AI について

Green AI 社は、「環境（Green）」と「テクノロジー（AI）」を融合し、企業の脱炭素経営を推進するスタートアップ企業です。

同社は、第9回めぶきビジネスアワード（主催：めぶきフィナンシャルグループ、常陽銀行、足利銀行）にて、「特別賞」を受賞しました。*

同社が提供する脱炭素計画策定システム「Green AI」は、設備や環境に関する専門知識がなくても、短時間で脱炭素計画を策定できる点が特長です。

AIが5,600件以上の省エネ・脱炭素施策データベースから、企業の使用燃料種や設備に対して最適な施策を提案し、CO2削減量や投資回収年数などの定量的な指標を算出することで、企業の経済性（コスト削減）と生産性、脱炭素の両立を支援します。

さらに、計画策定（Plan）だけでなく、実行（Do）、モニタリング（Check）、改善・計画修正（Act）まで支援し、工場や事業所ごとにエネルギー使用量・排出量削減のPDCAを回せる実行型プラットフォームです。



常陽銀行



常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151(代表) www.joyobank.co.jp

【企業概要】

名 称	株式会社 Green AI
住 所	東京都千代田区神田小川町 3-28-5 axle 御茶ノ水
代 表 者	代表取締役 鈴木 慎太郎
創 業	2023 年 3 月 1 日
事 業 内 容	脱炭素計画策定・CO2 削減システム『Green AI』の開発・提供
ウ ェ ブ サ イ ト	https://greenai.app/

※<関連プレスリリース>2026 年 1 月 20 日付「第 9 回めぶきビジネスアワード」受賞プランの決定および表彰式の開催について

3. パートナーシップの目的と取組概要

当行は、取引先企業の脱炭素化に向けたコンサルティングサービスおよびビジネスマッチングを通じた脱炭素・省エネソリューションの提供を推進しています。

Green AI 社との連携により、当行は、取引先企業の CO2 排出量の可視化や削減計画策定の支援から施策の実行支援までを一貫して提供する体制を強化してまいります。

以 上